デジタル化の取組状況について

1 令和3年度上半期の取組状況

(1)基本方針等の策定

時期	方針等	主な内容
5月	平塚市デジタル化基本方針	方針 1:暮らしのデジタル化
		方針 2 :行政内部のデジタル化
		方針3:情報セキュリティの確保
6月	平塚市デジタル化基本方針	基本方針に掲げる3つの方針に基づく取組を具現化する。
	【アクションプラン】	<重点取組事項(4項目)>
		暮らしのデジタル化 : 3項目
		情報セキュリティの確保:1項目
		<取組事項(28項目)>
		暮らしのデジタル化 : 15項目
		行政内部のデジタル化 : 10項目
		情報セキュリティの確保: 3項目

(2)重点取組事項

取組事項	取組状況
<方針1:暮らしのデジタル化>	・令和3年5月に手続のオンライン化に向けて、各課に調査を
各種申請や届出のオンライン化	実施した。
【行財政改革計画】	・調査結果に基づき関係課と協議・調整を進め、9月末時点で、
	e-kanagawa 電子申請システムに25種類の手続を追加した。
<方針1:暮らしのデジタル化>	・行政サービスのキャッシュレス決済の拡充に向け、本市の窓
各種支払いのキャッシュレス対応	口でのキャッシュレス対応に向けた考え方をまとめた。
【行財政改革計画】	・令和4年3月に予定している公共施設予約システムへのオン
	ライン決済サービスの開始に向けて、システム改修を進めた。
	・令和4年3月に予定している庁舎本館市民課窓口でのキャッ
	シュレス決済の導入に向けて、準備を進めた。
<方針1:暮らしのデジタル化>	・スマートフォンの操作に不慣れな高齢者を対象としたセミナ
デジタル機器の操作などに不慣れな市	ーの開催に向けて、先進自治体の事例調査や事業者からの情
民に向けた操作支援セミナーの開催	報収集及び関係課との調整を進め、事業スキームを作成した。
	・事業スキームに基づいた予算を確保するとともに、実施業者
	の選定作業を進めた(令和3年10月5日契約)。
<方針3:情報セキュリティの確保>	・先進自治体の ICT-BCP や内閣サイバーセキュリティセンター
情報システム部門の業務継続計画	(NISC)のガイドラインなどの情報を収集し、現在の本市
(ICT-BCP)の見直しと改善	ICT-BCP との比較検討などの作業に取り掛かった。

ICT-BCP

BCPとは Business Continuity Planの略で業務継続計画と訳され、大規模な地震や感染症の大流行などの災害があった際に、重要な業務はなるべく中断させないこと、止むを得ず中断してもできるだけ早期に復旧させることを目的とした計画のことです。ICT-BCPとは、ICT に特化した BCP のことです。

2 今後の取組予定

(1)概要

令和3年9月に発足したデジタル庁の動向を注視し、情報収集に努め、必要に応じてアクションプランの見直しと改訂を実施します。また、アクションプランの32の取組事項が計画どおりに進捗するよう取り組みます。

(2) 重点取組事項(令和3年度下半期の取組予定)

(2)重点取組事項(令和3年度下半期の取組予定)		
取組事項	取組予定	
<方針1:暮らしのデジタル化>	・職員が行っていた申請入力画面の作成を外部事業者に委託	
各種申請や届出のオンライン化	し、電子申請システムで実施できる手続の拡充を加速する。	
【行財政改革計画】	・各課にフォローアップ調査やヒアリングを実施し、オンライ	
	ン化できる手続の掘り起こしを実施する。	
<方針1:暮らしのデジタル化>	・令和4年3月に予定している公共施設予約システムのオンラ	
各種支払いのキャッシュレス対応	イン決済サービスの開始に向けて、システム改修作業を進め	
【行財政改革計画】	ర 。	
	・令和4年3月に予定している市庁舎本館市民課窓口でのキャ	
	ッシュレス決済の開始に向けて、作業を進める。	
	・上半期にまとめた考え方に基づき、キャッシュレス対応を行	
	う窓口の拡充に向けて、各課と協議・調整する。	
<方針1:暮らしのデジタル化>	・高齢者向けスマートフォンセミナーを開催する。	
デジタル機器の操作などに不慣れな市	【会場】地区公民館25館(各1回開催)	
民に向けた操作支援セミナーの開催	【人数】20人×25館=500人	
	【期間】令和3年12月~令和4年2月	
	【内容】スマートフォンの基本操作や市が提供している各種の	
	オンラインサービスなど	
<方針3:情報セキュリティの確保>	・上半期に収集した先進自治体等の情報などを参考に検討を進	
情報システム部門の業務継続計画	め、令和3年度中に本市の ICT-BCP を改正する。	
(ICT-BCP)の見直しと改善		